

# そらのとり

## 岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 8

2018年10月26日(金)発行

10月の聖句

### 「見よ、兄弟が共に座っている。なんとこの恵み、なんとこの喜び」

(詩編 133:1) チャプレン 池田 亨

福音書には、イエスさまが五千人もの人々を五つのパンと二匹の魚で養った奇跡物語が記されています。マルコ福音書には、こんな記述があります。「イエスは弟子たちに、皆を組に分けて、青草の上に座らせるようにお命じになった。」(マルコ 6:39)

夕暮れせまる、人里離れた所、飼い主のいない羊のような群衆の有様を、イエスさまはご覧になり、わずかな食物を祝福し分かち与え、彼らの飢えを満たされます。とても不思議な出来事です。

ある神学者は「わたしたちは自分たちのためだけに糧を確保しようとする」と途端に飢えがはじまる。しかし、わずかなものでも差し出し、分かち合うとき不思議と満たされる。これは不思議な神の律法である。」と。

もしかすると、イエスさまの、その教えにこころ動かされ、群衆たちは持参していた食物を差し出したのかも知れません。このような合理的解釈はさて置き…

爽やかな秋、分かち自由、恵み、喜びを味わいたい。イエスさまの平和に満たされて。



## ふるさと岩見沢の秋を楽しむこどもたち

年長さんは稲刈りに

そして夏の緑、秋の黄金色! こんな美しいものはどこにあるのでしょうか?

岩見沢で毎年感動するのは水田の景色です。春、水が張られると水にかなない完全な平らな面にきれいな黄緑色の苗が並ぶ美しさ!!

きた!! 春、そのお米を植えた年長さんが10月10日、よく切れる鎌で「ザクッ!!」手たえも確かにしっかりと稲刈りをしました。



「刈る刈り方をグループで決めたよ!」決め方もグループで決めて、とても民主的にできていましたよ。

はさがけのため、きちんとそろえてまとめました。

まっかなりんごにホクホク焼きいも



今年も、ちゅーりんごさんから年長さんまで、真赤なりんごがたわわに実る仲野農園さんへ...大きくてずっしり、甘くてきれいなりんごに大喜び!

おちばを集めて焼きいも



おいしいね、大きい子も小さい子もひとつずつもらってニッコリ。フーフーあつい!

まるで仕事のように、しんけんで楽しく

バス通りに面した幼稚園のかんぼんのうらに、小さな粘土作品がずらりと並んでいました。

ここ!

ここにいい粘土があるんだ!

こどもはよく土を見分けますね!!

この龍は首を上げて車の事故がおきないか見張っているんだよ!

びっぴりするほど

きれいなパンやケーキを作っています。男女関係なくどの子もしんけんで、いいものにそっと作り上げるのです。この美意識は、自然の素材が生むのでしょうか。

この遊びでは、木の葉や葉っぱ、花、砂、色の違う土を上手に使う。

スープでできたおまかせ!

あっけー

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ!

おまかせ! 遊びとことばもコミュニケーション能力も総動員です。

アムラーと岩見沢?

思いっきり友達自慢で申し訳ないのですが、私の高校時代の悪友が、安室直美の前半期のスタイリストをしていたのです。安室ちゃんが出産休業するときのNHKスペシャルの中で、並んで紅白の舞台に急ぐ姿が映され、「本当に安室ちゃんと一緒にいるー!」と実感したものです。去年うちに泊りに来た時、初めて知ったのですが、その友達、なんと中学校前まで岩見沢で過ごしたというではありませんか!ということは、アムラーを生んだ美意識は、この岩見沢で育まれたの! いや、そうに違いありません。この美しい自然、整った田畑。自然は芸術や教育や科学、すべての源なのです。自然の中で思う存分遊び倒す聖十字の子ども達。きっと夢のある素敵な仕事をするんじゃないかなあ、と夢見ています。